湖南高校だより

発行
福島県立
湖南高等学校
校長酒井祐治

校訓
誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

実り多き、湖南の秋

吹き抜ける清風

新生徒会

九月九日（木）、新生徒会役員を決める立会演説会と信任投票が行われました。立ち会い演説会において各候補者は、生徒会に対する思いの丈や生徒会活動として取り組んで行きたいことなどを熱く述べました。選挙管理委員による厳正な集計の結果、候補者全員が信任されました。新生徒会長となった大山紗生さん（湖南小中出身）は「前生徒会が出来なかったことを実現したい。服装などの規定について見直しを図りたい。」と意気込みを語りました。十月一日（金）には、生徒会役員認証式が行われ、新役員一人一人に酒井校長先生から任命書が授与されました。湖南高校の生徒代表として、これからの活躍が期待されます。

右から、２年穂苅渉冴（書記）、２年宗形春玖（副会長）、２年大山紗生（会長）、１年藤原早稀（副会長）、１年森田烈王（会計）。

部活動　新体制

部活動も主役の学年が代替わりしました。

ボート部では、二年生の諸橋俊輔君（郡山六中出身）が十月十五日（金）から行われた第三十六回東北高等学校選抜ボート大会に出場しました。結果は、三位とわずか一秒差の四位となり、全国大会への出場は惜しくも叶いませんでしたが、湖南高校ボート部の力が全国レベルであることを証明してくれました。また、一年生たちは九月二十五日（土）から県高校新人体育大会に参加してきました。参加者は挑戦する心を忘れず、最後まで全力でボートを漕ぎきることができました。

ソフトテニス部は、九月十日（金）から県高校新人体育大会県南地区大会に参加してきました。個人・団体戦ともに県大会出場に手は届きませんでしたが、生徒たちは持てる力を出し切りました。大会で見つけた課題を受け止め、十二月二日（木）から始まるインドア大会に向けて練習しています。

東北大会に出場した諸橋俊輔君。

今回の悔しさをバネに練習をしていきます。

そばの収穫

十月八日（金）、そばの収穫を行いました。当日は「アジアGAP」認証のそばを栽培している桑名秀一郎さん、福良地区認定農業者の阿部敏満さんを中心に、多くの地元の方々に参加して頂きました。生徒たちは、そばファームの面積の三分の一程度のそばを手刈りで収穫しました。残りの部分を桑名さんがコンバインで刈り取ると、生徒たちはその迫力に圧倒されていました。刈り取ったそばは束ね、稲わらで結わえて、格技場に運び込みました。乾燥させた後の脱穀・選別作業はそば部が行いました。

そばを収穫して満面の笑みの１年生。

そば道認定会

そば部は十月十六日（土）に、郡山市熱海多目的交流施設（ほっとあたみ）で開催された「そば道初段位技能審査郡山認定会」に挑戦しました。本校からは、二年生の三瓶槙也君（逢瀬中出身）、穂苅渉冴君（大槻中出身）、大山紗生さん（湖南小中出身）と酒井校長先生、他二名の教員の計六名が参加しました。この日まで「大島そば道場」の皆さんや桑名秀一郎さんのご協力のもと練習を重ねてきました。認定会では、その成果が遺憾なく発揮され、見事全員が初段位の認定を頂くことが出来ました。

見事、初段を獲得した２年生トリオ。

里山再生プロジェクト

「里山再生プロジェクト」とは地元湖南の環境保護と活性化を目的とした活動です。本校では、里山再生家の三宅正芳さんのご指導のもと、国道二九四号線バイパス沿いにおけるごみのポイ捨て防止と湖南町活性化のため、休耕地を利用した菜種油の商品開発に取り組んでいます。九月三十日（木）、郡山市地域おこし協力隊菅井恵美さんを講師に菜種油の商品化に向けたワークショップを行いました。また、十月八日（金）には、菜の花の種まきをしました。菜の花は三～四日で発芽し、来春には菜種になります。そこから抽出される菜種油は六次化商品として湖南町の地域おこしに活かす予定です。里山再生の第一歩が始まります。

湖南の良さと高校生らしさが伝わるラベルデザインのアイディアを出し合いました。

修学旅行

二年生は十月二十日（水）から三泊四日で、新潟、富山、石川、岐阜へ修学旅行に行ってきました。コロナ対策措置として旅行先を関西から初の北陸方面にしました。今回の修学旅行では、富岩運河「水のエレベーター」や池田屋安兵衛商店「反魂丹の丸薬作り」、ますのすしミュージアム「ますのすし作り」といった体験学習をしてきました。また、兼六園、五箇山、白川郷、高山の町並みなどの景観を楽しむとともに、国宝瑞龍寺や金沢城などの歴史を学ぶことができました。クラスの仲間と共に北陸の食文化に親しみ、同じ時間を共有する中で、また一段と絆が深まった修学旅行になりました。

寺泊にて、カニを手に持ち記念の１枚。お腹がすいてきます。

震災防災教育

一・三年生は十月二十一日（木）から一泊二日で、震災防災教育を行いました。一日目は、東日本大震災原子力災害伝承館にて展示物や語り部講話、請戸小学校周辺のフィールドワークから大災害の状況とその後の復興過程を学ぶことができました。夕方には国立磐梯青少年交流の家に到着し、初日の振り返りを行いました。二日目は、ハイゼックス袋を用いた防災炊飯などを行いました。生徒たちは戸惑いながらもしっかりと炊飯でき、レトルトカレーとともに白米をおいしくいただきました。午後はハザードマップの活用を学習し、防災意識を高める機会となりました。

火起こしから炊飯まで全て自分たちで行って完成したカレーライス。おいしく出来上がりました！

体育祭（運動会）

九月二十八日（火）、体育祭を行いました。今年は各クラス単位でダンスを発表しました。体育の授業などで練習を重ね、振り付けはもちろん、道具や衣装の工夫など、グループ毎の個性が光る内容でした。また、玉入れや大縄跳び、イントロクイズ、湖岸清掃（ボール集めゲーム）、障害物競争など、多様な種目で技を競い合いました。最後の種目「学年対抗リレー」には教員チームも参加し、真剣勝負が繰り広げられました。今年度の体育祭も、生徒たちにとって大変有意義な学校行事となりました。

３年担任の熊田厚志先生も飛び入り参加。会場が一気に盛り上がりました！

「学年対抗リレー」では、どんでん返しが繰り返される熱戦となりました。

編集後記

十月二十六日（火）、西会津高等学校で行われた六校合同の「地域課題探究ワークショップ」に一年生が参加しました。他校生を前にして緊張もありましたが、湖南の魅力と課題、湖南高校での探究活動の取組についてしっかりと発表してきました。また、他校の発表を聞くことで、あらためて湖南の資源に気づくことができました。一年生にとってこの発見はまだ小さな実りではありますが、湖南高校の未来を照らしていこうとする意志は着実に育まれています。　猪苗代子

今年も湖南の魅力を発表しました。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。